

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町 1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
定価 1部 105円(税込み)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

“ふるさと活性化—挑む”

衆議院議員
谷川やいち
新春特集号



昨年3月11日に発生した東日本大震災により、亡くなられた方々に衷心から哀悼の意を表し、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。あの日より、私たちは多くの被災者の皆様から、強く美しい日本人の心を学ばせて頂きました。自らの不足をおいて相手をお願いする姿や、困難の中にあっても喜びを見出そうとする笑顔に、多くの方々が心打たれ、日本の真の強さをお感じになられたことと思います。

輝かしい平成24年の新春をご家族と共にお健やかに迎えのことに存じます。現在、衆議院議員として3期ですが、衆議院農林水産委員会委員、衆議院海賊・テロ対策特別委員会委員、更には自由民主党総務会副会長、水産部会副会長、経済産業部会副会長、農林部会林政小委員会委員長、離

ごあいさつ

「景気対策、雇用開発で活力あるふるさとづくり」を推進している谷川弥一衆議院議員は、現在、自民党総務副会長をはじめ、衆議院農林水産委員会、海賊・テロ対策特別委員会などで、精力的に活動しています。昨年10月23、24日には、清和政策研究会町村信孝会長やメンバーらと地元長崎県の五島市を視察し、市議会議員の陳情を受けて、尽力することを約束致しました。政治家として地元長崎を活性化させるため、日々活動中の谷川弥一衆議院議員を特集します。



いま 必要なものは豊かな経験と確かな政治力!!

島振興特別委員会副委員長などの要職を務めて、日夜国政の重要案件に取り組んでおります。新年にあたり、私は将来の日本を見据え、国政への思いを新たに、激動の時代だからこそ、日本の歴史と伝統を大切にすることを基本に、しっかりと地に足をつけ、わが国の歩むべき道筋となる姿を明示する大きな社会ビジョンを提起しながら、飽くまで目線を低く生きた言葉で理想を語る事が政治家に課せられた使命であると確信しています。

今後とも、国民の底力に信頼を寄せつつ、毎日必死に生きておられる皆様方に一筋の光を当てるのが政治の役割であり、使命、責任であろうと思ひ、信ずるところを歩み続けることをお誓いし、肅々と政治の正道を歩んで参る決意でございます。

平成24年が皆様にとりまして、ご健勝とご活躍とご平安の一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

衆議院議員 谷川 弥一

衆議院議員

谷川 やいち さん



離島における道路や港湾整備などの社会基盤整備をはじめ、離島振興に多大な貢献を果たしてきた離島振興法の平成25年3月末失効を前に、長崎県と長崎県離島振興協議会(白川博一会長、壱岐市長)は去る平成23年8月19日(金)、五島市福江総合福祉保健センターにおいて「新たな離島振興法の制定実現を求める長崎県総決起大会」を開催した。総決起大会には、中村法道長崎県知事、北村誠吾衆議院議員(自民・九州比例区)、谷川弥一衆議院議員(同・九州比例区)、大久保潔重参議院議員(民主・長崎)、白川博一壱岐市長、中尾郁子五島市長、財部能成対馬市長、井上俊昭新上五島町長、西浩三小値賀町長のほか県内離島市町関係者約340名が出席し、離島の人口減少に歯止めをかけ、地域の創意工夫による離島振興が図れるよう、従来にない思い切った振興策を盛り込んだ新たな離島振興法の制定を求める決議を採択した。なお、離島振興法は、わが国昭和28年に制定された10年間の時限立法で、これまで五次にわたる改正延長を重ねている。中村知事はあいさつで、離島振興法の果たしてきた役割と成果を評価するとともに、離島地域の人口流出に歯止めがかからない現状などか

ら、このままでは離島の国家的役割が果たせなくなる可能性について言及した。離島振興法の改正延長に向けては、「しまは日本の宝」戦略として進めている県の離島振興政策を鑑み、離島航路運賃の低廉化、ガソリン・軽油などの石油製品の本土との価格差是正、離島の自立的発展に帰する離島振興一括交付金や離島振興債の創設といった従来の離島振興施策よりも一歩も二歩も踏み込んだ支援策、あるいは制度、財政対策などについて要請していく意向を示した。とくに長崎県では、県内の全離島のうち面積・人口ともに9割以上を国境離島が占めていることから、わが国の領域、排他的経済水域(EZ)などの確保・安全、海洋資源の利用など大きな国家的役割を担う国境離島に対しての、国庫補助率の高上げ、税の軽減措置といった手厚い支援策を要望した。

五島市で「新たな離島振興法の制定実現を求める総決起大会」開催

長崎県・長崎県離島振興協議会 全離島事務局

谷川やいちさんのアンケート(質問3部分)が週刊文春(2011年7月28日号)に掲載

あなたは「原発」をどうしますか?
「衆参」国会議員721人・緊急アンケート

2011年6月1日、衆議院経済産業委員会、海田田万里経済産業大臣に日本の将来像をめぐって質問した

質問1 7月13日に菅総理が行った「脱原発」会見を評価しますか?
 A 評価する (B 評価しない)

質問2 質問1でAもしくはBと答えた理由をお聞かせください。
 ・代替案がないので産業の空洞化、雇用の消失、貿易赤字、経常収支赤字、金利上昇、国債暴落、超インフレと続く

質問3 「脱原発」(日本で原発が一機も稼働していない状態)を目指すべきだと思いますか?
 A 目指すべきだと思う
 B 目指すべきではない
 安全で事故が起きない原発を開発すべき

質問4 質問3でAと答えた人は…
 (以下省略)

質問5 「脱原発」解散について、どう思いますか?
 A すべきだと思う
 B すべきではないと思う

